

学年	技術的要素	配慮事項	その他の材料	用具	作番例
1 2	つむ かさねる	・繰り返し形づくりをさせ、感覚を通してつり合いに気づかせるようにしたい。 ・造形的遊びとして扱い、できた形は、写真に記録してから、取り除き遊びをすることも効果的であろう。			1-1
2 3	つむ かさねる ねばす	・街の構成には、砂場を利用したり、道路を描きこんだ大きい紙を用意するなどの配慮がほしい。		・紙やすり ・木工接着剤 ・ポスターカラー ・クレヨン・クレバース	2-1 2-2
4	つむ かさねる きる	・木片からブロックをつくることを通じて正しいのこぎりの使い方を身につけさせるよう配慮したい。 ・事前から木片ブロック（1:2:4の割合）の作りやすい材料を集めるよう配慮したい。 ・できた作品は、写真に記録したい。	・輪ゴム	・のこぎり	3-1
4	きる・けずる ほる みがく	・木片に穴をほるなど、ものが入るように工夫した木片を小箱にため構成させることなどが考えられる。 ・小箱は、布きれや千代紙で表面装飾を工夫させたい。	・布きれ ・綿 ・千代紙 ・小箱	・のこぎり ・ドリル ・紙やすり ・彫刻刀	4-1
5 6	きる・けずる ほる・みがく	・置く場所、使う人について考えさせ、機能性を追求させたい。 ・いろいろな発想が生まれるよう導入段階を大切にしたい。		・のこぎり・ドリル ・木工やすり ・紙やすり	5-1 5-2
3	けずる・ねばす	・発泡スチロールの塊りを生かしたつくりかたをさせたい。	・自分で選んだ材料	・カッターナイフ ・スチロール用接着剤	6-1
4	構成 つむ ねばす	・発泡スチロールを大きいままで使用させないで、いろいろな形に切ったものを構成してつくるようにさせたい。		・小刀・糸のこぎり ・スチロール用接着剤	7-1
2~3	ならべる・かさねる	・河原や海岸での小石などの収集は、理科学習との関連を図り事故のないよう注意する。	・ベニア板など	・木工接着剤	8-1
4 6	きる・けずる みがく 彩色	・木の枝や根、流木などの自然物や、こわれた自転車などの廃品を常に集め保管するよう努めたい。 ・新しい形の発見には、逆光の空間でシルエットにして物を見せることも効果的であろう。	・あきびん ・発泡スチロール ・石こうなど	・のこぎり・小刀 ・彫刻刀・さり ・ドライバー・ベンチ	9-1
1~2	構成	・葉の種類が多いと効果的であろう。		・ホッチキス	10-1
5 6	構成	・裏板にはカラーブラスチック板を使用し両面接着テープで葉を固定する。その上に透明なプラスチック板をのせ葉の厚さに合わせ四隅にひもをつけ調節する方法などが考えられる。	・プラスチック板 ・毛糸など	・プラスチックカッター ・ドリル・糸のこぎり	11-1
1 2	かさねる・きる はる・彩色	・児童たちの発想でいろいろなものができるよう配慮したい。 ・加工に際し、用具が必要な場合は、事故防止の指導に十分留意する。	・包装紙など	・粘着テープ ・ポスターカラー ・木工接着剤	12-1
3~4	つむ・まく・ねばす	・城のイメージにとらわれないで独創的な形が生まれるよう導入段階を大切にしたい。	・自分で選んだ材料		13-1
5 6	きる はる	・ダンボールをはり合わせた場合の強さを具体的に示せるようにしたい。 ・棚や小テーブルなどをつくることも可能であることも理解させたい。	・和紙 ・紙ひも	・カッターナイフ ・木工接着剤 ・ニス	14-1 14-2
3 4	まげる	・針金は#21~#22が効果的であろう。 ・針金は、両端をまるめて危険のないように準備するよう留意したい。	・更紙	・ポスターカラー	15-1
5 6	まげる	・針金と他の材料との組み合せや着色についても工夫させたい。 ・針金は、#8が効果的であろう。	・木片 ・竹など	・ベンチ ・速乾的塗料	16-1 16-2 16-3
3 4	おる ねばす	・使用済みの割りばしを集め、洗い乾燥し準備しておくようにしたい。 ・折りにくいときは、ベンチではさんでおいて折るとらくであろう。	・毛糸 ・輪ゴム	・木工接着剤 ・洗濯ばさみ ・ポスターカラー	17-1 17-2
5 6	構成		・輪ゴム	・木工接着剤 ・洗濯ばさみ ・ポスターカラー	18-1 18-2